



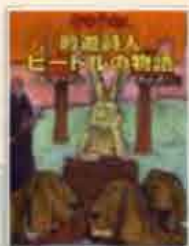
# 海外文学特集!



魔法使いのお話といえは、と言われてハリー・ポッターを連想する人はきっと多いですね。読んだことがある人、映画を見てお話を知っている人も多いはず。もっと深くハリー・ポッターの世界に入ってみませんか？

## 『吟遊詩人ビードルの物語』

J. K. ローリング作/松岡裕子訳  
静山社/分類：□（児童コーナー）



この物語は、15世紀の魔法使いであり吟遊詩人であるビードルによって古代ルーン語で書かれたもの。この本はダンブルドア先生がハーマイオニーに贈り、それをハーマイオニーが訳した。ホグワーツ校の古文書館で発見された、ダンブルドア教授の膨大なメモ書きに基づく解説のほか、多数のイラストが描かれている。魔法使いのたまご必読書。

## 『ハリー・ポッターと魔法のご馳走』

クラリッジ玲子作  
創元社/分類：□（児童コーナー）

ホグワーツ魔法学校の食堂に並ぶご馳走は、糖蜜パイ、ヌガー、ミンスパイ、かぼちゃのジュース。ホグズミード村に行けば「三本の箒」のバタービール。アグルだって美味しいものが食べたい！そんな食いしん坊アグルに向けたレシピの本。美味しく作ってホグワーツ気分を味わおう。

…ロンのママみたいに魔法で作ればいいのに。



## 『ダーウィンと出会った夏』

ジャクリーン・ケリー作/斎藤 倫子訳  
ほるぷ出版/分類：ケ（YAコーナー）

11歳のキャルパーニアは、家事やピアノよりも動物や植物を観察することが好きな女の子。変わり者のおじいちゃん「共同研究者」となり、実験や観察を重ねるうち、次第に科学の面白さにひかれていくが…。



## 『タイムライダーズ』(1.2)

アレックス・スカロウ作/金原 瑞人訳  
小学館/分類：ス（YAコーナー）

タイムトラベルが可能となり、人の野望が世界の歴史を変えてしまう時代。時代も場所も違うところから少年少女が集められ、タイムライダーズが結成された！

## 『アルテミス・ファウル 妖精の身代金』

オーエン・コルファー作/大久保 寛訳  
角川書店/分類：□（YAコーナー）

伝説的な犯罪一家に育った天才少年アルテミスは、コンピュータを駆使して「妖精の書」を解読し、富を得ようとする。しかし妖精たちは物語に出てくるような可愛らしい存在ではなく、ハイテクノロジーで武装した危険な集団だった！



「アイルランド版ハリー・ポッター」や「悪のハリー・ポッター」と言われるアルテミス・ファウルシリーズの第1巻です。2018年に映画化が発表されました！第1巻と第2巻が映画化されるとのことですが、小説は第8巻まで出版されています。公開時期がまだ発表されていない今のうちに全巻がっつり読んでみては？